

皇學館大学で 学ぶ皆さんへ

健全な研究活動の実現のために

皇學館大学では、健全な研究活動の実現とその環境づくりを推進しています。研究活動は、教職員や大学院生の研究のみを指すものではなく、学部学生が授業で行う発表やレポート作成、卒業論文(研究)なども含まれます。「大学での学び＝研究活動」であることを十分理解し、研究活動におけるルールを遵守して本学での学びに臨み、学生生活をより実り多いものとしてください。

研究活動の意義とは

大学は、学術の中心として、深く専門分野について学習する場であると同時に、研究機関として社会の発展に貢献するため、質の高い「研究活動」を行う場でもあります。

「研究活動」は、自身で決めた課題（テーマ）に対して情報を収集し、現状を把握し、問題を発見し、課題解決を図るための仮説を立て、検証や調査をすること、そして、得られた成果や結果を公表することを指し、皆さんが学生生活の中で取り組むレポート作成や口頭発表などの活動も、これにあたります。

このリーフレットで研究活動における留意事項をご紹介しますので、十分に理解し、研究機関に所属する一員であることの自覚と責任をもって本学での研究活動に取り組んでください。そして、研究活動を通して、分析力や表現力、協調性などを養い、卒業後の社会において求められる能力を身につけてください。

研究活動に求められること

責任ある研究活動を行うために、次のような要素が求められます。

〔正確さ〕 伝える内容が正確であること。

→情報を正直に伝え、誤解を生まない内容となっていますか？

〔客観性〕 事実をありのまま表現していること。

→先入観や思い込みを含めていたり、得たい内容に有利な情報に偏ったりしていませんか？

〔再現性〕 再現可能であること。

→他者が同じ方法で実験をしても同じ結果が得られますか？

研究者として心がけること

- 1 指導教員や研究を共に行う学生同士、それぞれの立場を尊重し、情報共有や自由闊達な議論・討論ができる環境を築きましょう。
- 2 研究に協力・支援してくれる方々に対し、誠意をもって対応しましょう。
- 3 正確さや客観性を重要視し、研究結果が望まないものであっても正直に受け入れましょう。
- 4 研究過程や調査・実験の結果を正確に記録した研究ノート（電子ファイルでも可）や資料、参考文献などを保存しましょう。
- 5 先入観に基づいた偏った調査を行ったり、偏見を持った考察を行ったりしてはいけません。
- 6 調査・実験のデータから得られない結論を述べてはいけません。
- 7 研究分野やその方法によって遵守すべき法令などを正しく理解し、研究の透明性を高めましょう。

学外活動での注意点

学外で、見学・研究活動・聞き取り調査などを行う場合、次の点に注意してください。

- 写真撮影、録音、録画などをする際は、必ず事前に見学先（協力者）の許可を得てください。
- 個人が特定されるような撮影や録画内容の公開は避けてください。
- 聞き取りなどの調査をする場合は、プライバシーや当事者への心理的影響に配慮する必要があります。事前に質問内容や聞き方について指導教員に相談してください。
- 研究成果や資料として写真や調査回答などを掲載する場合は、何をどのように掲載するかを事前に提供先（協力者）に説明し、許可を得てください。

研究活動における不正行為とは

研究活動のすべての場面において、研究不正は絶対に行ってはいけません。

自身の研究上の行為が研究不正にあたるかどうか、疑問に思った場合は、教員に相談してください。

●存在しないデータ、研究結果等を作成すること

捏造



●研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データおよび研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること

改ざん



●他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文または用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること

盗用



上記の3点以外に、論文等の作成における次の行為も研究不正行為となります。

× 不適切なオーサーシップ

論文の著者として資格がない（論文の作成にあたり、特に関与・貢献していない）者を、執筆者または共同執筆者として掲載することはできません。逆に、論文の著者として資格がありながら、執筆者または共同執筆者として名前が掲載されないことも許されません。

× 二重投稿

他の学術誌などで既に公表されている（もしくは投稿中の）論文と本質的に同じ論文を投稿してはいけません。

「盗用」と疑われないためのポイント

研究成果や論文以外にも、筆記試験の答案やレポート作成などにおいて、他者の文章やアイデアを無断で書き写すことも「剽窃(ひょうせつ)」という「盗用」にあたります。

盗用したと疑われないように、次のステップで正しく引用してください。

Step 1 : 引用部分を明確に示す

引用した他者の文章やアイデア（図表・新聞記事などを含む）は、必ず「 」で囲みます。

引用部分が多い場合は、本文から改行し、引用部分全体を1～2文字分を字下げして、本文とは異なることが分かるように表示します。

Step 2 : 引用した元の文献を示す

引用した元の文献を「出典」といい、参考にした文献のどの部分を引用したのかが分かるように示す必要があります。出典には、主に、著者名・書名(論文名)・該当ページ・出版社・出版年（インターネット上の情報であれば、URL、閲覧日）を記載します。引用の仕方や出典の記載方法は、教員からの指示をよく聞き、各専門分野で使われる方法を習得するようにしてください。

皇學館大学における研究不正防止の取組み

皇學館大学では、次のとおり規程等を定め、研究不正行為の防止に取り組んでいます。

- 皇學館大学研究倫理規程
- 皇學館大学での研究活動における不正行為防止等に関する規程
- 皇學館大学における公的研究費の使用に係るコンプライアンス教育・研究倫理教育の実施計画について

研究不正行為を行った場合、「皇學館大学大学学則」第 53 条および「皇學館大学学生の懲戒に関する規程」に基づき、懲戒処分の対象となることがあります。処分を受けることにより、自身の学修・研究計画や将来にも支障を来すほか、大学の信頼をも失うことにつながります。

『履修要項』の「不正行為に関する注意事項」にも掲載しているように、受験心得（携帯電話やスマートフォンの使用、持込許可品以外の持ち込みなど）に反する行為、カンニング、試験中の私語と同様に、レポート作成等における「剽窃」も不正行為になります。

不正行為が確認された場合は、当該学期におけるすべての履修科目の受験資格を失い、成績評価が「放棄」となり、さらに停学処分となります。



不正行為のない研究活動を行うとともに、

不正を生まない環境づくりを心がけましょう



〔発行〕 皇學館大学 研究開発推進センター

TEL : 0596-22-6466 (直通)

e-mail : kenkyu@kogakkan-u.ac.jp

URL : <http://kenkyu.kogakkan-u.ac.jp/>